

○豊島区図書館経営協議会規則

令和 7 年 3 月 3 1 日
教育委員会規則第 5 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、豊島区附属機関設置に関する条例（平成26年豊島区条例第16号）第 6 条の規定に基づき、豊島区図書館経営協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第 2 条 協議会は、図書館サービスの成果及び達成度を明らかにし、効率的かつ効果的な図書館行政の推進に資するため、豊島区立図書館（以下「図書館」という。）の経営評価その他の図書館政策について、意見を述べ、又は提言を行うものとする。

(教育委員会の責務)

第 3 条 豊島区教育委員会（以下「委員会」という。）は、前条の意見又は提言を尊重し、図書館経営及び運営に反映させるよう努めなければならない。

(組織)

第 4 条 協議会は、次の各号に掲げる者の区分に応じ、当該各号に定める人数の範囲内で、委員会が委嘱又は任命する委員をもって組織する。

- (1) 学識経験者 2 名
- (2) 豊島区立小中学校長 2 名
- (3) 区内大学図書館関係者 2 名
- (4) 公募区民 2 名
- (5) 図書館ボランティア関係者 1 名
- (6) 区職員 2 名
- (7) 前各号に掲げる者のほか、委員会が必要と認めた者 4 名

(会長及び副会長)

第 5 条 協議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
- 3 会長は、協議会を代表し、会議を主宰する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を行う。
- 5 会長及び副会長の任期は、委員の任期とする。ただし、委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

(協議会の招集)

第6条 協議会は、会長が招集する。

(定足数及び議決)

第7条 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(委員の解嘱)

第8条 委員会は、委員に特別の理由があると認めたときは、協議会の同意を得た上で、任期中であってもその委嘱を解くことができる。

(関係者の出席等)

第9条 協議会は、必要があると認めるときは、委員以外の関係者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

2 協議会は、委員会に対し、必要な資料の提出を求めることができる。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、協議会の意見を聴いた上で、委員会が定める。

附 則

この規則は、令和7年4月1日から施行する。



施策（4-④）

多様な役割を持つ新たな図書館の実現

目指す姿

- 図書館が、本の貸出・閲覧の場としてだけでなく、居場所や交流の場を含め、誰もがそれぞれのスタイルで快適に利用できる文化振興、生涯学習及び地域コミュニティの拠点となっている。
- 図書館を通じて、子どもの読書活動や区民の学習活動がより活発となっている。

現状・課題

情報収集、読書・学習スタイルの多様化

- SNS、電子メディア、配信サービス、オンライン販売等の普及により、区民の情報収集、読書・学習のスタイルが多様化しています。
- 区民の知的欲求が高まる一方、子ども、若者の読書離れ、活字離れが懸念されています。
- 多様化する区民ニーズに的確に対応するためには、関係機関等とのさらなる連携による読書活動の推進、DX推進によるサービスの充実・効率化等を進める必要があります。

図書館の新たな役割

- 近年図書館は、生涯学習施設としてだけでなく、地域の活性化やまちづくりに欠かせない存在として注目されています。
- また、居場所や交流の場等、図書館の新たな役割への期待が高まっています。
- 新たな図書館への変革には、利用者視点による空間づくりが重要であるため、改築・改修の機会を捉えて、効果的な施設整備を行う必要があります。

取組方針

地域の情報センター、読書活動・学習活動のハブとして図書館の整備

- 地域の文化・観光資源を生かした特色ある図書館づくり、蔵書の充実、他の図書館との連携強化、多様な講座・展示等を通じて、区民の暮らしを豊かにし、地域の課題解決につながる情報発信を進めます。
- 「知の拠点」として、地域文化の保存・継承を促進するほか、共催事業や相互PR等、地域文化創造館と緊密に連携し、それぞれの興味や関心、学習スタイルにきめ細かく対応することで、生涯にわたる区民の多様な学びを支援します。
- 電子図書館の充実、手続きのオンライン化、サービスのセルフ化等、地域の情報センターにふさわしいDX推進を図ります。
- 保育園、子どもスキップ、区民ひろば、小・中学校及び学校図書館、大学その他企業、団体、ボランティア等、幅広い主体と連携・協働し、年齢、障害の有無等を問わず、様々な機会、場所、方法で読書を楽しめる環境を確立します。

居場所、交流、創造の場としての図書館の整備

- 施設の改築・改修にあわせて、家庭、学校、職場とは異なる、ほっとできる「居場所」としての空間づくりを進めます。
- 「子どもと一緒にでも周囲に気兼ねなく利用したい」、「読書や学習に専念したい」、「カフェコーナーが欲しい」等、多様な利用者のニーズに応じた居心地のよい図書館環境を整備します。整備にあたっては、子どもがわくわくしながら本と出会えるよう、子ども視点の創意工夫を図ります。
- 図書館や本を通じて、多くの人がつながり、交流できるよう、ホールやグループ活動室等のハード面の整備、イベント等のソフト面の充実を図ります。
- 図書館が国籍や母語を超えた発見や交流の場となるよう、多文化サービスを拡充します。
- 知識を得る場としてだけでなく、体験型講座、ワークショップ、グループ支援等を通じ、地域の発展とその担い手育成につながる「創造の場」としての図書館づくりを進めます。



指標	現状値	目標値				
	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
成果指標 図書貸出数【冊】	2,057,234 (2023年度)	1,970,000	1,900,000	2,020,000	2,260,000	2,300,000
成果指標 図書館来館者数【人】	1,512,313 (2023年度)	1,530,000	1,530,000	1,650,000	1,920,000	2,000,000

1 計画の位置付け

- 国の「**子どもの読書活動の推進に関する法律**」（平成13年）に基づき策定する計画。区市町村は、都の計画を基に計画の策定及び取組を実施
- 「東京都障害者・障害児施策推進計画」（福祉局）と併せて**都の読書バリアフリー計画にも位置付けている**

2 第四次計画における主な取組と課題

- 東京都は、「第四次東京都子供読書活動推進計画」（計画期間：令和3～7年度）において、以下の目標を掲げ取組を推進

目標 1 乳幼児期からの読書習慣の形成

- ・乳幼児のいる家庭等への情報発信、区市町村立図書館の乳幼児サービス実施への支援 など

目標 2 学習の基盤となる資質・能力の育成のための読書活動の推進

- ・都立図書館による生徒の調べ学習支援、学校図書館リニューアル事例の発信 など

目標 3 特別な配慮を必要とする子供の読書環境整備の推進

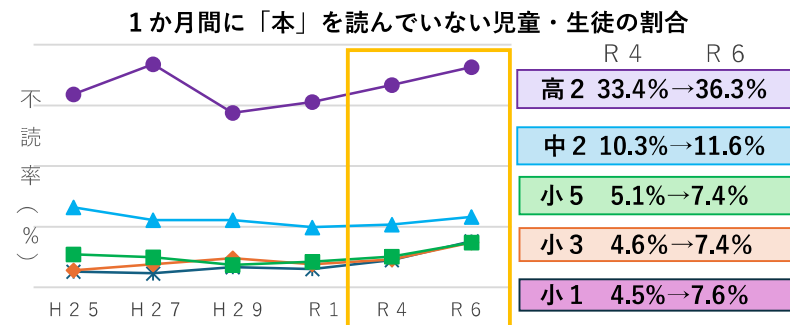
- ・日本語を母語としない子供たち向けのやさしい日本語コーナーや、アクセシブルな資料を集めたりんごの棚の設置 など

目標 4 読む本の質の向上

- ・ホームページやソーシャルメディア等を活用した高校生向けの情報発信、学校に対する講師派遣や職員研修の実施支援 など

【課 題】

- ・第四次計画期間中は、スマートフォン等の普及などのデジタル技術の進展により、児童生徒を取り巻く環境が大きく変化。
- ・電子書籍を読んだことのある割合が増加する一方で、子供たちの興味や関心を引く動画やSNS等のコンテンツが登場。
- ・このような中で、不読率の改善を軸に様々な取組を進めてきたが、児童生徒の読書への興味や関心を持てる工夫が十分とはいえず、調査結果にあるとおり、**児童・生徒の不読率は各学年とも上昇傾向。**



電子書籍は「本」に含む、教科書、学習参考書、漫画、雑誌、図鑑等は含まない

児童・生徒の発達過程に応じて読書に対し興味や関心を持てる様々な取組が必要

3 第五次計画について（計画期間：令和8年度～令和12年度）

- 社会変化が急激で複雑かつ予測困難な時代において、**自ら学び、課題解決に必要な資質・能力を育むため、読書活動の推進**に取り組む必要
- **子供たちの興味や関心、時代の変化に応じた多様な読書活動を進め、一人一人の子供が主体的に読書に取り組めることを目指す**

【基本方針】

1 発達過程に合わせた読書習慣の形成

- ・子供一人一人の状況を踏まえた読書活動を支援し、発達過程に合わせた読書習慣の形成を推進
- ・不読率が高い状況にある高校生が読書に興味や関心を持てる取組を進める

2 デジタル技術を活用した取組の充実

- ・本との関わりのきっかけとしてのAI等の活用、読書に関するコミュニケーション、一人1台端末を活用した学校図書館の利用促進など

3 多様な子供たちの読書機会の提供

- ・全ての子供が等しく読書をすることができるよう、個々の障害等、多様なニーズを踏まえた読書環境整備を更に推進

4 子供の視点に立った読書活動の推進

- ・様々な方法で子供の意見やアイデアを聴取する機会を設けるほか、子供自身が主体となった読書活動を推進

【読書の対象】

本計画では新たに漫画、雑誌、図鑑等も対象とし、本の形態には電子書籍に加え、オーディオブックも含む

4 施策展開

- 「家庭」、「学校・園」、「地域」が連携・協力し、**社会全体で取組を推進**

【都及び都立図書館の主な取組】

- ・読み聞かせや親子で参加できるトークイベント等、子供や保護者が読書への興味や関心を高める機会の提供
- ・都立学校の図書館にソファや個人ブースなどを備え、多様な過ごし方ができる空間を整備
- ・電子書籍の活用により、都立高校での探究学習や家庭学習などの取組を充実
- ・都立図書館の専門的な蔵書が閲覧できるタブレット端末を都立学校へ導入し、探究学習等に活用
- ・読み上げている文字の色がつくデジタル図書（マルチメディアデイジー※）を拡充し、校外学習等に活用
- ・バリアフリー図書等の貸出しを全ての特別支援学校に対応できる規模に拡大



（公財）日本障害者リハビリテーション協会
マルチメディアデイジーの例

※ Digital Accessible Information System の略

豊島区読書活動に関する実態調査報告書

～ 概 要 版 ～

<調査の目的>

調査Ⅰ 「豊島区子ども読書活動推進計画（第四次）」の効果を検証し、次期計画（第五次）策定の基礎資料とする。

調査Ⅱ 「豊島区立図書館基本計画（第二次）」に基づく事業の検証や区民の読書に関する意識、図書館の利用状況等、図書館運営への要望を把握し、今後の図書館経営及び次期計画策定の基礎資料とする。

<調査の概要>

- (1) 調査区域 豊島区全域
- (2) 調査対象 調査Ⅰ : 区内小学校（9校）2年生・5年生・区内中学校（6校）2年生・区内高校（2校）2年生とその保護者
調査Ⅱ : 一般区民
- (3) 抽出方法 調査Ⅱ : 住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法 調査Ⅰ : ・小・中学校は、調査票を対象校へ区内交換便で送付し、インターネット回収
・高校は、調査票を対象校へ郵送により送付し、インターネット回収
・保護者には児童・生徒経由で調査票を配付し、インターネット回収
調査Ⅱ : 郵送で配付し、郵送またはインターネット回収
- (5) 調査時期 令和7年9月1日～令和7年9月30日
(小学校・中学校のみ令和7年9月1日～令和7年10月31日)
- (6) 回収結果

		配付数	不在返送数	有効配付数	有効回収数	有効回収率
調査Ⅰ	小学生	1,210人			824人	68.1%
	中学生	601人			249人	41.4%
	高校生	672人			536人	79.8%
	保護者	2,483人			733人	29.5%
調査Ⅱ	区民	2,500人	18人	2,482人	667人	26.9%

～ 調査結果の見方 ～

- ◇ 表中のnは該当質問での回答者総数を表す。
- ◇ 複数回答は質問に対する回答がいくつでもよい質問を表し、特にことわり書きのない場合は質問に対する回答が1つの単数回答を表す。
- ◇ 回答はnを100%として百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体の示す数値と一致しないことがある。
- ◇ 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。
- ◇ 表中で回答が一番多い項目に着色している。

◎この調査の詳しい結果は、「豊島区読書活動に関する実態調査 報告書」をご覧ください。

調査Ⅰ：小学生調査／中学生・高校生調査／保護者調査

1 読書とその他の行動時間

(1) 学校が終わってからの行動（複数回答）

〔報告書：9・61頁〕

小学生全体は多い順に「勉強や宿題」、「塾や習い事」、「友だちと遊ぶ」。不読者は「友だちと遊ぶ」、「勉強や宿題」、「ゲームをする」の順。

	小学生 (n=824)	不読者 (n=49)
勉強や宿題	79.0%	51.0%
塾や習い事	59.8%	36.7%
友だちと遊ぶ	58.0%	61.2%
ゲームをする	49.6%	49.0%
テレビやDVDを見る	45.8%	34.7%
本やマンガや雑誌などを読む	41.7%	14.3%
子どもスキップ・学童クラブを利用する	36.4%	26.5%
インターネットやユーチューブなどのSNS	34.7%	38.8%
地域の図書館を利用する	11.5%	4.1%
その他	5.6%	4.1%

※不読者：概要版4ページ（2）1か月の平均読書冊数で、紙の本＋電子書籍計の合計を0冊と回答した児童

(2) 読書時間とその他の行動時間（1日平均時間数）

〔報告書：80・134・135頁〕

中学生全体は多い順に「インターネットやYouTubeなどのSNS、メールなどをする」、「スポーツなど体を動かす」、「ゲームをする」。中学生不読者は「インターネットやYouTubeなどのSNS、メールなどをする」、「ゲームをする」、「スポーツなど体を動かす」の順。高校生全体、不読者ともに多い順に「インターネットやYouTubeなどのSNS、メールなどをする」、「スポーツなど体を動かす」、「勉強や宿題をする（塾を含めて）」。

	中学生 (n=249)	不読者 (n=43)
インターネットやYouTubeなどのSNS、メールなどをする	165.2分	191.6分
スポーツなど体を動かす	87.2分	96.5分
ゲームをする	83.7分	110.9分
テレビやDVDをみる	78.3分	57.9分
勉強や宿題をする（塾を含めて）	76.7分	63.3分
本、マンガ、雑誌などを読む	33.5分	3.5分

	高校生 (n=536)	不読者 (n=138)
インターネットやYouTubeなどのSNS、メールなどをする	171.8分	190.2分
スポーツなど体を動かす	83.2分	86.0分
勉強や宿題をする（塾を含めて）	61.0分	53.3分
ゲームをする	54.4分	42.4分
テレビやDVDをみる	50.3分	45.9分
本、マンガ、雑誌などを読む	26.9分	2.6分

※不読者：概要版4ページ（2）1か月の平均読書冊数で、紙の本＋電子書籍計の合計を0冊と回答した児童

(3) 1日の平均読書時間

[報告書:14・80頁]

小学生 53.1分、中学生 33.5分、高校生 26.9分と学年が上がるにしたがい読書時間が減る傾向。

	小学生 (n=824)	中学生 (n=249)	高校生 (n=536)
0分	11.5%	31.3%	44.8%
1～29分	21.8%	21.3%	9.9%
30～59分	28.0%	24.9%	22.8%
60～89分	17.6%	13.3%	15.9%
90～119分	8.6%	0.4%	1.5%
120分以上	12.4%	8.8%	5.2%
平均	53.1分	33.5分	26.9分

2 読書の意識・実態

(1) 読書が好きかどうか

[報告書:13・83頁]

本が好きな割合は、小学生は8割台半ば、中学生は7割台前半、高校生は7割台半ば。

	小学生 (n=824)	中学生 (n=249)	高校生 (n=536)
好き	48.9%	26.5%	32.5%
どちらかといえば好き	35.2%	45.0%	42.7%
どちらかといえばきらい	11.4%	19.3%	19.2%
きらい	4.5%	9.2%	5.6%
好き(計)	84.1%	71.5%	75.2%

(2) 1か月の平均読書冊数

〔報告書:16・19・22・86・90・92・144～147頁〕

※「本」…読み物、絵本、学習参考書、図鑑、マンガ、コミック、新聞、雑誌など(教科書以外の読み物全て)

紙の本＋電子書籍計の平均は小学生（2年生）37.3冊、小学生（5年生）20.1冊、中学生8.6冊、高校生6.1冊と学年が上がるにしたがい読書冊数が減る傾向。

家庭内の本の冊数別でみると、いずれの学年も100冊以上の平均に比べて50冊未満の平均が少なくなっている。

■紙の本（ジャンル合計）

	小学生 (2年生) (n=382)	小学生 (5年生) (n=442)	中学生 (n=249)	高校生 (n=536)
平均	28.9冊	16.5冊	6.0冊	3.0冊
	(n=144)	(n=138)	(n=115)	(n=216)
50冊未満の平均(※)	9.8冊	8.3冊	3.7冊	1.4冊
	(n=104)	(n=150)	(n=64)	(n=156)
100冊以上の平均(※)	51.0冊	23.7冊	10.5冊	5.0冊

■電子書籍（ジャンル合計）

	小学生 (2年生) (n=382)	小学生 (5年生) (n=442)	中学生 (n=249)	高校生 (n=536)
平均	8.4冊	3.6冊	2.7冊	3.2冊
	(n=144)	(n=138)	(n=115)	(n=216)
50冊未満の平均(※)	2.9冊	2.6冊	1.9冊	3.1冊
	(n=104)	(n=150)	(n=64)	(n=156)
100冊以上の平均(※)	21.1冊	5.0冊	5.3冊	3.7冊

■紙の本＋電子書籍計（ジャンル合計）

	小学生 (2年生) (n=382)	小学生 (5年生) (n=442)	中学生 (n=249)	高校生 (n=536)
平均	37.3冊	20.1冊	8.6冊	6.1冊
	(n=144)	(n=138)	(n=115)	(n=216)
50冊未満の平均(※)	12.7冊	10.9冊	5.6冊	4.6冊
	(n=104)	(n=150)	(n=64)	(n=156)
100冊以上の平均(※)	72.1冊	28.7冊	15.8冊	8.7冊

(※)概要版7ページ(1)家庭内の本の冊数

(3) 不読率

〔報告書:46・121頁〕

※「不読率」…東京都の定義に合わせる為、教科書、学習参考書、漫画、雑誌、図鑑、写真だけの写真集、絵だけの絵本、画集は「本」に含まない。

紙の本＋電子書籍計の0冊（不読率）は小学生（2年生）13.6%、小学生（5年生）15.6%、中学生30.1%、高校生46.5%と学年が上がるにしたがい増える傾向。

	小学生 (2年生) (n=382)	小学生 (5年生) (n=442)	中学生 (n=249)	高校生 (n=536)
豊島区不読率「0冊」	13.6%	15.6%	30.1%	46.5%
東京都不読率「全く読んでいない」	7.4%	7.4%	11.6%	36.3%

※東京都は小学2年生は調査をしていないため、3年生の結果を掲載。

(4) 『読み物・絵本』を読まない理由(複数回答)

[報告書:47・122頁]

小学生(2年生)は豊島区、東京都ともに「読みたい本がなかったから」がトップ。
 小学生(5年生)は豊島区は「読みたい本がなかったから」、東京都は「本を読むことに興味がないから」がトップ。中学生は豊島区は「読みたい本がなかったから」、東京都は「本を読むことに興味がないから」がトップ。高校生は豊島区、東京都ともに「本を読む時間がなかったから」がトップ。

■小学生(2年生)	豊島区 (n=52)	東京都 (n=不明)
読みたい本がなかったから	1位 (38.5%)	1位 (38.2%)
どれもあてはまらない	2位 (26.9%)	4位 (17.4%)
文章を読むこと、字を見ることがきらいだから。めんどうだから	3位 (19.2%)	5位 (15.1%)
本を読む時間がなかったから	4位 (17.3%)	3位 (26.1%)
本を読むことに興味がないから	5位 (11.5%)	2位 (28.4%)

■小学生(5年生)	豊島区 (n=69)	東京都 (n=不明)
読みたい本がなかったから	1位 (52.2%)	2位 (43.6%)
本を読むことに興味がないから	2位 (36.2%)	1位 (44.6%)
本を読む時間がなかったから	3位 (31.9%)	4位 (22.4%)
文章を読むこと、字を見ることがきらいだから。めんどうだから	4位 (10.1%)	3位 (25.5%)
どれもあてはまらない	4位 (10.1%)	5位 (9.2%)

■中学生	豊島区 (n=75)	東京都 (n=不明)
読みたい本がなかったから	1位 (61.3%)	2位 (47.9%)
本を読むことに興味がないから	2位 (46.7%)	1位 (53.4%)
文章を読むこと、字を見ることが嫌いだから。面倒だから	3位 (29.3%)	4位 (28.9%)
本を読む時間がなかったから	4位 (24.0%)	3位 (29.7%)
どれもあてはまらない	5位 (16.0%)	5位 (8.8%)

■高校生	豊島区 (n=249)	東京都 (n=不明)
本を読む時間がなかったから	1位 (46.6%)	1位 (49.2%)
読みたい本がなかったから	2位 (43.0%)	3位 (37.3%)
本を読むことに興味がないから	3位 (33.7%)	2位 (42.4%)
どれもあてはまらない	4位 (12.0%)	5位 (9.0%)
文章を読むこと、字を見ることが嫌いだから。面倒だから	5位 (10.0%)	4位 (19.4%)

※東京都調査の質問は、「本」を読まなかった理由

※東京都は小学2年生は調査をしていないため、3年生の結果を掲載。

(5) 本を読んでみようと思うきっかけ(複数回答)

[報告書:28・98頁]

小学生(2年生)、小学生(5年生)はともに「本屋さんなどで気になった」がトップ。
 中学生、高校生はともに「ドラマ、映画、アニメなどの原作」がトップ。

小学生 (2年生) (n=382)	1位	本屋さんなどで気になった	39.0%
	2位	学校図書館や地域の図書館で気になった	38.0%
	3位	家族や先生など、おとなからすすめられた	31.9%
小学生 (5年生) (n=442)	1位	本屋さんなどで気になった	41.9%
	2位	ドラマ、映画、アニメなどの原作	41.2%
	3位	学校図書館や地域の図書館で気になった	37.1%
中学生 (n=249)	1位	ドラマ、映画、アニメなどの原作	45.0%
	2位	書店などで気になった	36.1%
	3位	インターネットやSNSで話題になっている	28.9%
高校生 (n=536)	1位	ドラマ、映画、アニメなどの原作	45.0%
	2位	書店などで気になった	43.5%
	3位	インターネットやSNSで話題になっている	41.4%

(6) 読書頻度

〔報告書:32・103頁〕

学年が上がるにしたがい読書頻度が下がる傾向。

	小学生 (2年生) (n=382)	中学生 (5年生) (n=442)	中学生 (n=249)	高校生 (n=536)
ほとんど毎日	39.8%	27.8%	16.5%	10.8%
1週間に4～5日	14.4%	14.9%	18.9%	7.5%
1週間に2～3日	17.3%	15.4%	16.5%	11.2%
1週間に1日	10.5%	12.2%	8.0%	8.6%
1か月に数日	6.3%	13.3%	13.7%	19.2%
ほとんど読まない	11.8%	16.3%	26.5%	42.7%

(7) 読書をする理由(複数回答)

〔報告書:33・104頁〕

豊島区、東京都いずれも「楽しむため」がトップ。

■小学生(2年生)

	豊島区 (n=382)	東京都 (非聴取)
楽しむため	1位 (73.0%)	—
気になる事やわからないことを調べるため(※1)	2位 (37.2%)	—
宿題について調べるため(※2)	3位 (21.7%)	—
親や先生にすすめられたから	4位 (14.4%)	—
友だちが読むから	4位 (14.4%)	—

■小学生(5年生)

	豊島区 (n=442)	東京都 (n=不明)
楽しむため	1位 (77.6%)	1位 (70.6%)
気になる事やわからないことを調べるため(※1)	2位 (31.2%)	2位 (51.7%)
宿題について調べるため(※2)	3位 (18.6%)	3位 (20.5%)
親や先生にすすめられたから	4位 (17.9%)	4位 (15.6%)
友だちが読むから	5位 (11.5%)	5位 (10.0%)

■中学生

	豊島区 (n=249)	東京都 (n=不明)
楽しむため	1位 (69.9%)	1位 (76.3%)
興味・関心、知識を高めるため	2位 (37.3%)	2位 (47.0%)
課題について調べるため	3位 (15.3%)	3位 (17.8%)
親や先生に勧められたから	4位 (13.3%)	4位 (11.4%)
友達が読むから	5位 (9.2%)	5位 (8.0%)

■高校生

	豊島区 (n=536)	東京都 (n=不明)
楽しむため	1位 (79.5%)	1位 (77.0%)
興味・関心、知識を高めるため	2位 (32.3%)	2位 (43.4%)
課題について調べるため	3位 (13.1%)	3位 (26.1%)
親や先生に勧められたから	4位 (5.0%)	4位 (8.0%)
友達が読むから	5位 (4.5%)	5位 (4.9%)

※1: 東京都調査の選択肢は「興味・関心、知識を高めるため」

※2: 東京都調査の選択肢は「課題について調べるため」

3 読書の環境

(1) 家庭内の本の冊数

〔報告書:37・108頁〕

小学生は「50冊～100冊くらい」が3割台半ばと最も多く、中学生、高校生は「50冊より少ない（50冊未満）」が4割を超えて最も多い。

	小学生 (n=824)	中学生 (n=249)	高校生 (n=536)
50冊より少ない（50冊未満）	34.2%	46.2%	40.3%
50冊～100冊くらい	35.0%	28.1%	30.6%
100冊より多い（100冊以上）	30.8%	25.7%	29.1%

(2) 保護者自身の読書の頻度〔保護者〕

〔報告書:182頁〕

子どもの学年が上がるにしたがい「よく読んでいる」は少なくなる傾向。

	小学生 保護者 (n=452)	中学生 保護者 (n=160)	高校生 保護者 (n=121)
よく読んでいる	29.2%	27.5%	20.7%
たまに読んでいる	43.8%	41.9%	40.5%
あまり読まない	18.6%	20.6%	31.4%
まったく読まない	8.4%	10.0%	7.4%

(3) 子どもの読書促進に効果的と思う環境〔保護者〕

〔報告書:165頁〕

最も効果的と思う環境はいずれの学年の保護者も「家庭での読書環境を充実させる」がトップ。「学校での読書環境を充実させる」が次ぐ。

■小学生保護者

	最も効果的 (n=452)
1 位	家庭での読書環境を充実させる 59.3%
2 位	学校での読書環境を充実させる 23.2%
3 位	公共の図書館を充実させる 8.0%

	次に効果的 (n=452)
学校での読書環境を充実させる	37.2%
学校の図書館と公共の図書館の連携を強化する	21.0%
公共の図書館を充実させる	17.9%

■中学生保護者

	最も効果的 (n=160)
1 位	家庭での読書環境を充実させる 46.3%
2 位	学校での読書環境を充実させる 27.5%
3 位	学校の図書館と公共の図書館の連携を強化する 14.4%

	次に効果的 (n=160)
学校での読書環境を充実させる	33.1%
家庭での読書環境を充実させる	26.3%
学校の図書館と公共の図書館の連携を強化する	19.4%

■高校生保護者

	最も効果的 (n=121)
1 位	家庭での読書環境を充実させる 52.1%
2 位	学校での読書環境を充実させる 26.4%
3 位	特にない 7.4%

	次に効果的 (n=121)
学校での読書環境を充実させる	36.4%
学校の図書館と公共の図書館の連携を強化する	19.0%
家庭での読書環境を充実させる	13.2%

4 豊島区立図書館について

(1) 豊島区立図書館の利用頻度

〔報告書:39・112頁〕

小学生、中学生は家庭内の本の冊数が少ないと豊島区立図書館の利用頻度も少ない傾向。

	小学生 (2年生) (n=382)	小学生 (5年生) (n=442)
1年間の平均	29.5回	14.9回
	(n=144)	(n=138)
50冊未満の平均(※)	18.1回	11.9回
	(n=104)	(n=150)
100冊以上の平均(※)	55.6回	16.6回

※小学生は『地域の図書館』として聴取

	中学生			高校生		
	全体 (n=249)	50冊未満 (※) (n=115)	100冊以上 (※) (n=64)	全体 (n=536)	50冊未満 (※) (n=216)	100冊以上 (※) (n=156)
1週間に数日	4.0%	6.1%	3.1%	1.9%	2.3%	1.9%
1か月に数日	13.3%	8.7%	15.6%	4.9%	4.6%	5.1%
1年間に数日	25.3%	24.3%	31.3%	6.9%	7.9%	7.1%
ほとんど利用しない	57.4%	60.9%	50.0%	86.4%	85.2%	85.9%

(※)概要版7ページ(1)家庭内の本の冊数

(2) 保護者自身の豊島区立図書館の利用頻度〔保護者〕

〔報告書:183頁〕

小学生保護者に比べて中学生保護者、高校生保護者の利用頻度が低い傾向。

	小学生 保護者 (n=452)	中学生 保護者 (n=160)	高校生 保護者 (n=121)
よく利用している	24.1%	17.5%	0.0%
たまに利用している	31.9%	25.6%	4.1%
あまり利用していない	20.1%	29.4%	6.6%
まったく利用していない	23.9%	27.5%	89.3%

(3) 豊島区立図書館の利用目的(複数回答)

〔報告書:40・113頁〕

小学生は「本を借りる・本を読む」がトップ。中学生、高校生は「行かない」がトップ。

小学生 (n=824)	1位	本を借りる・本を読む	86.8%
	2位	調べ学習などの勉強をする	22.8%
	3位	行かない	9.8%
中学生 (n=249)	1位	行かない	66.7%
	2位	本を借りる・読書する	24.5%
	3位	調べ学習などの勉強をする	13.7%
高校生 (n=536)	1位	行かない	85.6%
	2位	調べ学習などの勉強をする	7.6%
	3位	本を借りる・読書する	7.1%

※中学生、高校生は『学校がある日』の結果を掲載

調査Ⅱ：一般区民調査

1 読書の意識・実態

(1) 読書が好きかどうか

〔報告書:213頁〕

読書が「好き」、「どちらかといえば好き」を合わせた「好き」（計）は8割台半ば。

	(n=677)
好き	50.2%
どちらかといえば好き	36.3%
どちらかといえば好きでない	9.9%
好きでない	3.1%
無回答	0.4%
好き（計）	86.5%

(2) 本を読むきっかけ（複数回答）

〔報告書:215頁〕

「新聞やテレビでの本の紹介」がトップ。「家に本があること」が次ぐ。

		(n=677)
1 位	新聞やテレビでの本の紹介	51.1%
2 位	家に本があること	49.5%
3 位	勉強や仕事のため	47.4%

(3) 1か月の平均読書冊数

〔報告書:218・220・222頁〕

平均は紙の本が 9.3冊、電子書籍が 3.6冊、紙の本＋電子書籍計は 13.0冊。

ジャンル別の紙の本＋電子書籍計の平均は、読み物・絵本が 2.3冊、マンガ・コミックが 2.2冊、新聞が5.8部。

	紙の本 (n=677)	電子書籍 (n=677)	紙の本＋ 電子書籍 計 (n=677)
0 冊	10.8%	57.2%	4.9%
1 冊	10.2%	7.8%	5.9%
2～3 冊	23.9%	11.8%	18.5%
4～5 冊	15.5%	4.9%	15.1%
6～10冊	14.2%	9.7%	19.8%
11～20冊	9.5%	4.1%	14.5%
21～30冊	4.0%	2.2%	5.5%
31冊以上	11.5%	1.8%	15.5%
無回答	0.4%	0.4%	0.4%
平 均	9.3冊	3.6冊	13.0冊

		紙の本	電子書籍	紙の本＋ 電子書籍 計
読み物・絵本	(n=677)	1.8冊	0.5冊	2.3冊
実用書・参考書	(n=677)	1.0冊	0.4冊	1.3冊
マンガ・コミック	(n=677)	0.6冊	1.6冊	2.2冊
雑誌	(n=677)	0.9冊	0.4冊	1.3冊
新聞	(n=677)	5.1部	0.8部	5.8部
合 計	(n=677)	9.3冊	3.6冊	13.0冊

(4) 普段読む本のジャンル（複数回答）

【報告書:225頁】

「文学・評論」がトップ。「マンガ」、「話題になっている本」が次ぐ。

		(n=677)
1 位	文学・評論	45.1%
2 位	マンガ	37.4%
2 位	話題になっている本	37.4%
4 位	旅行ガイド	33.8%
5 位	ノンフィクション	33.4%

(5) 読みたい本の入手方法（複数回答）

【報告書:228頁】

「書店・古書店などで購入する」がトップ。「図書館を利用する」が次ぐ。

		最も多い方法 (n=677)	次に多い方法 (n=677)	最も+次に多い計 (n=677)
1 位	書店・古書店などで購入する	51.0%	25.1%	76.1%
2 位	図書館を利用する	20.5%	21.1%	41.6%
3 位	インターネットで購入する	14.0%	23.6%	37.6%
4 位	電子書籍を利用する	10.0%	9.2%	19.2%
5 位	人から借りる・もらう	1.8%	7.5%	9.3%

(6) 知識や情報の入手媒体

【報告書:231頁】

「インターネット」がトップ。「テレビ」、「新聞」が次ぐ。「書籍・雑誌」は5番目。

18～29歳は「SNS」がトップ。20～69歳までは「インターネット」がトップ。70歳以上では「テレビ」がトップ。

		最も多い方法 (n=677)	次に多い方法 (n=677)	最も+次に多い計 (n=677)
1 位	インターネット	39.9%	20.4%	60.3%
2 位	テレビ	20.7%	22.6%	43.3%
3 位	新聞	15.4%	13.0%	28.4%
4 位	SNS (Instagram、X、YouTubeなど)	12.6%	15.7%	28.3%
5 位	書籍・雑誌	5.9%	13.7%	19.6%

■「最も多い」+「次に多い」計

	1 位	2 位	3 位
18～29歳 (n=34)	SNS 82.3%	インターネット 70.6%	テレビ 17.6%
30～39歳 (n=69)	インターネット 79.7%	SNS 56.5%	書籍・雑誌 31.8%
40～49歳 (n=136)	インターネット 78.7%	SNS 45.6%	テレビ 27.9%
50～59歳 (n=127)	インターネット 77.2%	テレビ 42.5%	書籍・雑誌 22.8%
60～69歳 (n=125)	インターネット 66.4%	テレビ 50.4%	新聞 30.4%
70歳以上 (n=177)	テレビ 63.2%	新聞 59.9%	インターネット 21.4%

(7) 電子書籍の利用状況

【報告書:234頁】

全体で「利用している」は約4割。

18～29歳、30～39歳で7割前後と他の年齢層より多い。

	全 体 (n=677)	18～ 29歳 (n=34)	30～ 39歳 (n=69)	40～ 49歳 (n=136)	50～ 59歳 (n=127)	60～ 69歳 (n=125)	70歳 以上 (n=177)
利用している	39.3%	70.6%	68.1%	65.4%	40.9%	24.8%	10.2%
利用していないが、今後は利用したい	15.2%	5.9%	14.5%	10.3%	19.7%	19.2%	15.3%
利用していないし、今後も利用したくない	39.3%	23.5%	15.9%	22.1%	38.6%	47.2%	61.0%
電子書籍を知らない	4.4%	0.0%	1.4%	2.2%	0.0%	8.0%	8.5%
無回答	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.8%	5.1%

2 豊島区立図書館について

(1) 豊島区立図書館のサービスの認知度

〔報告書:236頁〕

「CD・DVDを借りることができる」、「調べものや資料探しを職員に相談できる（レファレンス）」の認知率は6割台。

■認知度ベスト5

		(n=677)
1位	CD・DVDを借りることができる	68.7%
2位	調べものや資料探しを職員に相談できる（レファレンス）	64.1%
3位	乳幼児・児童向けのおはなし会などを行っている	57.8%
4位	インターネットやスマートフォンから資料の検索・予約ができる	56.7%
5位	区外の図書館から本を取り寄せることができる	45.0%

■認知度ワースト5

		(n=677)
1位	中央図書館で「ビジネスなんでも相談」が行われている	9.9%
2位	メールマガジン「豊島区図書館ニュース」を配信している	11.6%
3位	電子図書館がある（駒込・上池袋・池袋・目白図書館）	17.3%
4位	区内の連携している大学図書館の資料を区立図書館で閲覧できる	19.3%
5位	専門家による文化・芸術・歴史などの講演会を行っている	34.6%

■「知っているが利用したことがない」サービス

		(n=677)
1位	乳幼児・児童向けのおはなし会などを行っている	45.1%
2位	CD・DVDを借りることができる	44.5%
3位	調べものや資料探しを職員に相談できる（レファレンス）	44.3%
4位	視覚障害者向けの点字図書館がある	41.1%
5位	電子資料閲覧席（中央）・パソコン持込み席（目白を除く）がある	34.4%

(2) 豊島区立図書館のサービスの利用意向

〔報告書:242頁〕

利用意向が高い順に「自動貸出機がある」、「インターネットや携帯電話から資料の検索・予約ができる」、「調べものや資料探しを職員に相談できる（レファレンス）」。

■利用意向の高いサービス

		(n=677)
1位	自動貸出機がある	75.6%
2位	インターネットやスマートフォンから資料の検索・予約ができる	73.4%
3位	調べものや資料探しを職員に相談できる（レファレンス）	72.1%
4位	区外の図書館から本を取り寄せることができる	71.0%
5位	CD・DVDを借りることができる	64.3%

■利用意向の低いサービス

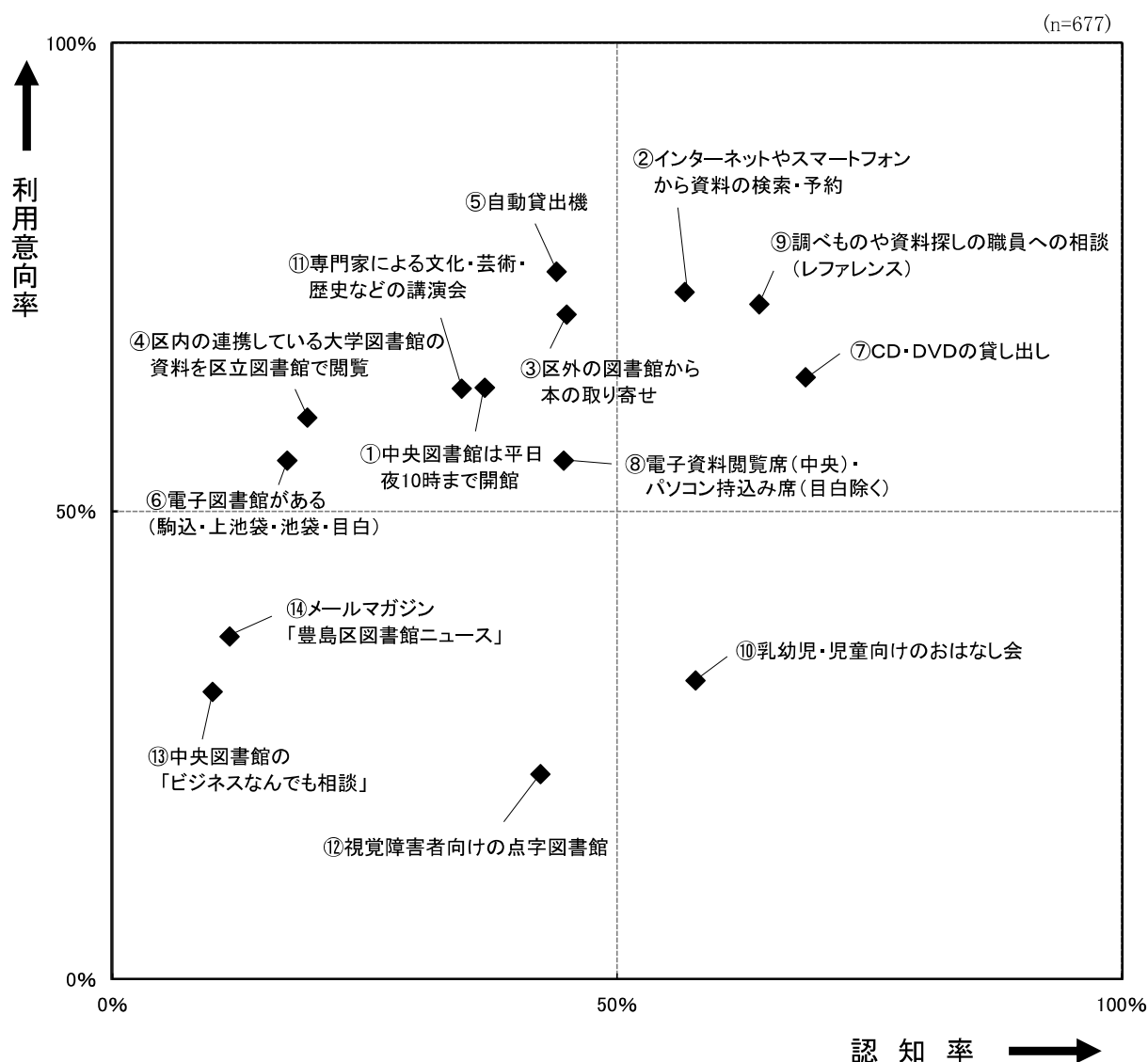
		(n=677)
1位	視覚障害者向けの点字図書館がある	21.9%
2位	中央図書館で「ビジネスなんでも相談」が行われている	30.7%
3位	乳幼児・児童向けのおはなし会などを行っている	31.9%
4位	メールマガジン「豊島区図書館ニュース」を配信している	36.6%
5位	電子図書館がある（駒込・上池袋・池袋・目白図書館） 電子資料閲覧席（中央）・パソコン持込み席（目白を除く）がある	55.4%

(3) サービスの認知度と利用意向率

[報告書:248頁]

豊島区立図書館のサービスの認知率を横軸に、利用意向率を縦軸に分布すると以下の通り。
認知率、利用意向率ともに比較的高いのは、②インターネットや携帯電話から資料の検索・予約、⑨調べものや資料探しの職員への相談（レファレンス）、⑦CD・DVDの貸し出しなど。

認知率は比較的低いが、利用意向率が比較的高いのは、⑤自動貸出機、③区外の図書館からの本の取り寄せ、①中央図書館は平日夜10時まで、⑪専門家による文化・芸術・歴史などの講演会などの講演会を行っている開館などであり、これらのサービスについては認知率をより高めることで利用者がより増えることを示唆。



(4) 豊島区立図書館のサービス等の満足度

〔報告書:249頁〕

満足度の高いサービスは「開館している日数（休館日は月2回）」、「図書の貸出冊数（区内在住者20冊まで）」の順。反対に、不満度の高いサービスは「閲覧席」、「資料の数」、「貸出期間（15日間）」の順。

■満足度の高いサービス（「満足」＋「やや満足」）

		(n=677)
1 位	開館している日数（休館日は月2回）	71.2%
2 位	図書の貸出冊数（区内在住者20冊まで）	70.0%
3 位	開館している時間帯	69.1%
4 位	図書資料の予約可能数（区内在住者20冊まで）	64.6%
5 位	図書館利用カードの更新期限（区内在住者5年）	60.7%

■不満度の高いサービス（「やや不満」＋「不満」）

		(n=677)
1 位	閲覧席	15.6%
2 位	資料の数	7.8%
3 位	貸出期間（15日間）	7.5%
4 位	資料の内容	6.3%
5 位	館内の環境	5.3%

(5) 豊島区立図書館の過去1年間の利用頻度

〔報告書:255頁〕

「ほとんど利用しない」が5割近く、「1か月間に数日」、「1年間に数日」が2割台前半。

	(n=677)
1週間に数日	4.6%
1か月間に数日	22.2%
1年間に数日	23.0%
ほとんど利用しない	48.0%
無回答	2.2%

(6) 豊島区立図書館の1回あたりの利用時間

〔報告書:257頁〕

「1時間以上2時間未満」が3割台半ば、「30分以上1時間未満」が2割台半ば。

	(n=677)
30分未満	15.4%
30分以上1時間未満	25.3%
1時間以上2時間未満	36.0%
2時間以上4時間未満	6.6%
4時間以上	0.9%
わからない	12.9%
無回答	3.0%

(7) 豊島区立図書館の平日の夜間（19時～22時）の利用経験

〔報告書:259頁〕

「ある」が1割台半ば。

	(n=677)
ある	16.8%
ない	79.8%
無回答	3.4%

(8) 豊島区立図書館を平日の夜間(19時～22時)に利用したい時間帯(複数回答)〔報告書:261頁〕

「19時～20時」が2割台前半、「20時～21時」が1割台半ば、「21時～22時」が1割台前半。

	(n=677)
19時～20時	22.6%
20時～21時	16.0%
21時～22時	11.7%
利用したくない	24.4%
わからない	38.1%
無回答	0.6%

(9) 豊島区立図書館をこの1年間に利用していない理由(複数回答)〔報告書:262頁〕

「読みたい本は自分で購入する」がトップ。「行く時間がない」、「自宅から図書館が遠い」が次ぐ。

		(n=325)
1位	読みたい本は自分で購入する	57.5%
2位	行く時間がない	34.8%
3位	自宅から図書館が遠い	27.1%
4位	場所がわからない	13.2%
5位	閲覧席が満席になっている	8.6%

(10) 豊島区立図書館以外に利用している図書館(自由記述)〔報告書:284～287頁〕

文京区、新宿区、北区などの隣接区の図書館や大学の図書館、国立国会図書館などの利用がみられる。

1位	文京区立図書館	31件
2位	新宿区立図書館	20件
3位	北区立図書館	15件
4位	大学の図書館	13件
5位	国立国会図書館	7件

(11) 豊島区立図書館に取り組んでほしいサービス(1～3位計)〔報告書:263頁〕

「一般向け図書資料の充実」がトップ。「視聴覚資料(CD・DVD)の充実」、「児童向け図書の充実」が次ぐ。

		(n=677)
1位	一般向け図書資料の充実	56.1%
2位	視聴覚資料(CD・DVD)の充実	19.0%
3位	児童向け図書の充実	17.2%
4位	電子書籍の充実	16.5%
5位	オンラインデータベースの充実	15.2%

豊島区読書活動に関する実態調査報告書

～ 概 要 版 ～

令和８年３月発行

発 行 豊島区教育部図書館課
豊島区東池袋４－５－２ ライズアリーナビル５階
電話 ０３－３９８３－７８６１